

2021年度 乗務員年間指導教育実施計画書

教育月	教育事項	内 容	実施日	外 部 指 導
4 月	1. 事業用自動車を運転する場合の心構え	・バス事業の公共性と重要性 ・バス事故の社会的影響 ・安全運行の心構え ・接客(挨拶、言動、行動)等について ・服務規程等の社内規律等の遵守		・NASVA【適性診断】(随時) ・交通事故防止研修会 (バス協働催時)
	春の全国交通安全運動について (重点実施事項の周知)			
5 月	2. 事業用自動車の運行の安全及び 旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項	・道路運送法、道路交通法の遵守すべき事項 ・交通ルール等の理解 ・一般国道・高速道路の安全走行 ・運行指示書の遵守		
	12. ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転の指導	・ヒヤリハット体験の報告や運転に係る苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対しドライブレコーダーにより必要な指導を行う		
6 月	4. 乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項	・装置の「急」な操作を避けることの必要性 ・乗客の状況を確認(走行中の着席・シートベルトの着用の徹底) ・シートベルト着用アナウンス・DVDの活用		
	夏の交通事故防止運動 ・ 車内事故防止キャンペーンについて (重点実施事項の周知)			
7 月	5. 乗客が乗降する時の安全を確保するために留意すべき事項	・旅客の乗降時、状況に注意した装置の適切な操作の必要性 ・道路状況及び交通状況に応じた安全な停車 ・高齢者・障害者の乗降時の安全確保		
	夏の交通事故防止運動 ・ 車内事故防止キャンペーンについて (重点実施事項の周知)			
8 月	6. 主とする運行経路または営業区域における道路及び交通の状況	・運行路線・経路における道路交通の状況を踏まえ、安全に運転するために留意すべき事項を指導		・救急救命法講習会 (消防)
	12. ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転の指導	・ヒヤリハット体験の報告や運転に係る苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対しドライブレコーダーにより必要な指導を行う		
9 月	3. 事業用自動車の構造上の特性及び日常整備点検	・車高、車長、車幅、死角、内輪差及び制動距離等の確認 ・日常点検の励行 ・タイヤの保守及び腐食箇所の確認		
	秋の全国交通安全運動 ・ 飲酒運転防止週間・自動車点検推進運動について (重点実施事項の周知)			
10 月	8. 運転者の運転適性に応じた安全運転	・適性診断結果に基づいた、運転者自らの運転行動の特性を自覚させる ・運転者のストレス等の心身の状態に配慮した適切な指導		
	高齢者交通事故防止運動について ・ 自動車点検推進運動について(重点実施事項の周知)			
11 月	11. 安全性の向上を図るための装置を備えた貸切バスの適切な運転方法	・運転支援装置に関する性能の理解不足や過大評価による事故発生事例 ・運転支援装置の性能及び留意点 ・ハンドル操作を行う装置 ・車両姿勢維持を支援する装置		
	12. ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転の指導	・ヒヤリハット体験の報告や運転に係る苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対しドライブレコーダーにより必要な指導を行う		
エコドライブ強化月間 (重点実施事項の周知)				
12 月	7. 危険の予測及び回避並びに 緊急時における対処方法 異常気象時における対処方法	・危険予測運転の必要性 ・危険予測のポイント ・異常気象の把握 ・指差確認の徹底 ・各種緊急事態(地震・バスジャック等)の対応を身に付ける ・冬季における車両の扱い(積雪・凍結路面のチェーン装着による事故防止)		
	冬の交通事故防止運動 ・ 年末年始輸送安全総点検 (重点実施事項の周知)			
1 月	10. 健康管理の重要性	・疾病が要因となる交通事故事例の理解事故と健康管理の因果関係 ・定期健康診断結果に基づき、生活習慣の改善を図るなど健康管理の重要性の理解 ・睡眠時無呼吸症候群		
	冬の交通事故防止運動 ・ 年末年始輸送安全総点検 (重点実施事項の周知)			
2 月	9. 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法 ※労働基準及び改善基準告示について	・長時間連続運転による過労及び飲酒等の生理的要因及び慣れや運転技能の過信などの心理的要因による ・飲酒運転、酒気帯び運転、危険ドラッグの使用禁止 ・労働基準及び改善基準告示について		
	12. ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転の指導	・ヒヤリハット体験の報告や運転に係る苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対しドライブレコーダーにより必要な指導を行う		
3 月	13. ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット体験等を自社内での共有	・交通事故やヒヤリハット等の事例説明		
	14. 非常用信号用具、非常口、消火器の取り扱い	・非常用信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導		